

教育課程特例校の取組

Myタイムについて

Myタイムを通して、 自立した学習者を育てる

Myタイムを通して付けたい力

- 学びを調整する力の育成
- 学習全体を見渡し、自分の力を把握する力の育成
- なりたい自分を見定める力の醸成
- 足りない力を身に付けるための耐性や集中のための力の育成
- 基礎的・基本的な学力（いわゆる知識・技能の基礎・基本）の
定着

令和6年度 1学期の取組

- 3～6年生で実施
- 月曜日6校時に実施
- 年度当初は、国語や算数などのプリントを担当が用意し、子どもがその中から選んで取り組んでいた。

- 活動内容の記録はとっていたが、子どもたちの振り返りやプリントを選んだ理由は把握していなかった。
- 1学期終わりに、子どもたちから自分で選んだ活動に取り組むことはできないかという声があった。



「Myタイム」学習カード



年組名前

	日付	活動内容・やったこと	先生のサイン
1	/		
2	/		
3	/		
4	/		
5	/		
6	/		
7	/		

令和6年度 2・3学期



2学期 「マイタイム」 学習カード



年 組 名前 _____

- 子どもの声を受け、夏季休業中に学習計画表を変えた。
- 子どもたちが活動を選んだ理由を把握することで、子どもたちの課題意識を捉えようとした。
- 一方で、子どもたちが自分勝手な活動をしているのではないかという疑念もわいてきた。
- 活動を選べない子どもに対する指導にも、迷いが生じている教員がいた。

日付	今日やること	理由	振り返り 	先生のサイン
① ／				
② ／				

令和 7 年度 1 学期 (教育特例校としての 1 年目)

今年度の方針

- 全学年で取り組むこととし、教科の範囲を決めない。

現段階での課題

- 月曜日の 5 ・ 6 校時に実施するため、子どもの集中力の維持が課題。
- 子どもに合った課題を設定することが難しい。
- 自分の課題が分かっていない子どもがいる。
- Myタイムの意義を伝えるために、4 月の初めにオリエンテーションを行いたい。

Myタイムを設定したことによる、各教科の時数は右の表の通りである。

各教科から、一割程度の時数をMyタイムに充てている。

合計		850 (850) 0	910 (910) 0	980 (980) 0	1015 (1015) 0	1015 (1015) 0	1015 (1015) 0
各教科の授業時数	国語	295 (306) -11	304 (315) -11	229 (245) -16	229 (245) -16	163 (175) -12	163 (175) -12
	社会	- (70) -6	- (70) -6	64 (90) -7	83 (90) -7	92 (100) -8	97 (105) -8
	算数	129 (136) -7	167 (175) -8	163 (175) -12	163 (175) -12	163 (175) -12	163 (175) -12
	理科	- (90) -7	- (90) -7	83 (105) -7	97 (105) -8	97 (105) -8	97 (105) -8
	生活	97 (102) -5	101 (105) -4	-	-	-	-
	音楽	65 (68) -3	67 (70) -3	56 (60) -4	55 (60) -5	46 (50) -4	46 (50) -4
	図画工作	65 (68) -3	67 (70) -3	54 (60) -6	56 (60) -4	46 (50) -4	46 (50) -4
	家庭	-	-	-	-	56 (60) -4	51 (55) -4
	体育	98 (102) -4	101 (105) -4	97 (105) -8	98 (105) -7	84 (90) -6	84 (90) -6
	外国語	-	-	-	-	65 (70) -5	65 (70) -5
特別の教科である道徳の授業時数		34 (34) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0	35 (35) 0
外国語活動の授業時数		-	-	32 (35) -3	32 (35) -3	-	-
総合的な学習の時間の授業時数		-	-	65 (70) -5	65 (70) -5	65 (70) -5	65 (70) -5
特別活動の授業時数		32 (34) -2	33 (35) -2	32 (35) -3	32 (35) -3	33 (35) -2	33 (35) -2
Myタイム		35	35	70	70	70	70

Myタイムの活動のイメージ

- Myタイムがプリントやドリルをやるだけの時間になりがち
→知識・技能の時間ではない。思考・判断・表現を伸ばすことも必要。
- Myタイムでやれることが分からない
→下の3つの例が考えられる。
 - A：学力の補充（いわゆるドリルやプリント）
 - B：時間の追加（教科の学習において、もっと深めたいこと、もっと知りたいことを調べる）
 - C：発展（その学年の指導内容を超えたもの）
- Myタイムの活動内容について質の向上を図りたい
そのためには、個別最適な学びを実施することで充実していくような学習活動を展開する必要がある。

令和 7 年度 2 学期の取組

- 9 月シラバスをもとに、年間の学習を見通す時間を設定し、子どもが学習計画に反映させる。

例えば、1 学期に伸びた力をこの単元で発揮したい。

1 学期は課題だったので、Myタイムで練習しておき、次の単元ではスムーズにできるようになりたい。

1 学期に経験した学び方で、2 学期のこの単元でも取り組んでみたい。

あらためて、 自立した学習者を育てるために

- Myタイムの成果は、子どもの姿で判断する。
- 学びを調整する力や将来にわたって自ら伸びようとして学び続ける力が身に付いているかを見ていく。
- まずは、学習計画表にある記述の変化をもとに見取る。
- Myタイムやその他の学習の時間の子どもの様子から見る。
- 学期の最後の振り返りや保護者からの子どもの変容などをもとに把握する。

まとめとして（概要）

教育課程特例校は、令和7年度から開始する。

新設教科等名は、「Myタイム」であり、育成する資質・能力は、「児童が自身の学習状況を振り返り、見通しをもって、自らの学習をマネジメントする力を育成する」ことである。

「Myタイム」の内容は、各教科等で日々学んでいる学習活動を補完するものであり、児童が自分の興味がある内容を掘り下げていく活動をしたり、練習等が不足しているものに取り組んだり、発表等に向けた準備や練習を進めたりという活動に取り組む。児童がそれぞれに自分の学習状況に応じて計画をたて、計画に基づいて学習を進める。これは、個別最適な学びの姿であり、指導の個別化、学習の個性化を実現するものと考えている。「Myタイム」では、児童が友達と話し合ったり、担任や教科担当の教員と相談したりできるように進める。